

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-177665 (P2005-177665A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026
 【出願番号】特願 2003-424413 (P2003-424413)
 【国際特許分類】

B 0 1 J 4/00 (2006.01)

B 0 1 F 5/04 (2006.01)

C 1 0 L 3/10 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 4/00 1 0 2

B 0 1 F 5/04

C 1 0 L 3/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 8 月 25 日 (2006.8.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

原料ガスをベンチュリーミキサ 12 で空気と混合してサージタンク 14 に流入させ、流入した混合ガス圧が、設定圧力以上になるとベンチュリーミキサ 12 入口部の自動開閉弁 15 を閉じ、設定圧力以下になると上記自動開閉弁 15 を開く開閉弁コントローラ 16 を設けたガス供給装置において、サージタンク 14 の混合ガス流入口 14 a にベンチュリーミキサ 12 のベンチュリー管 12 a を固着し、該ベンチュリー管 12 a の喉部 12 b にベンチュリーミキサ 12 の原料ガス噴出ノズル 12 c を臨ませたことを特徴とするガス供給装置。

【請求項 2】

上記ベンチュリーミキサ 12 内の負圧・正圧に反応して空気弁 17 を開・閉させるダイヤフラム装置 18 の中空弁棒 17 c のパネ室 18 b 側先端に磁石 18 c を設け、ダイヤフラムケース 18 a の外側に、上記磁石 18 c により作動するリードスイッチ 18 e を設け、このリードスイッチ 18 e が閉じている時間を積算する積算時計 19 を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載のガス供給装置。

【請求項 3】

上記積算時計 19 の積算時間が設定時間に到達すると警報または原料ガス容器 11 の切り替えバルブ操作信号を発するようにしたことを特徴とする請求項 2 に記載のガス供給装置。

【請求項 4】

上記ガス供給装置 10 のベースフレーム B に原料ガス容器 11 を固定・取外し可能にしたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のガス供給装置。

【請求項 5】

上記ガス供給装置 10 のベースフレーム B に原料ガス容器 11 を複数個固定可能にし、上記各原料ガス容器 11 を集合配管したことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のガス供給装置。

【請求項 6】

上記原料ガス容器 11 の固定手段は、容器の外周形状に合わせた帯 23 に締結手段 21 を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のガス供給装置。

【請求項 7】

上記原料ガス容器 11 とガス供給装置 10 との間に減圧弁を配置したことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のガス供給装置。